



# 「こん虫の育ち方」



3年 組 番 ( )

## 1. チョウの育ち方

みなさんは、チョウを見たことはありますか。つかまえたことはあるでしょうか。チョウにはたくさんの種類があります。モンシロチョウ、アゲハチョウなどなど…

まずは、モンシロチョウをれいに、チョウの育ち方について考えていきましょう。モンシロチョウは、キャベツなどに、たまごをうみつけます。うまれたばかりのモンシロチョウのたまごの大きさは1mmほどです。しかし、大人になると、2cmほどの大きさになります。



教科書 25 ページのしゃしんです。  
たまごと大人のチョウの大きさを  
くらべてみよう!

小さなたまごは、どのようにして大きな大人のモンシロチョウになるのでしょうか。

### ○もんだい

モンシロチョウは、たまごからどのように育つのでしょうか。

### ○よそうしよう



「よそう」とは、  
「もんだいの答えはこうじゃないかな?」と思ったことを書くところだよ!

・たまごから大人のモンシロチョウになるまで、どのようなへんかがあると思いますか?

たまご→

→大人のモンシロチョウ

### ○計画を立てよう



もんだいの答えを知るには (よそうが正しいか知るには)、何をしたらいいと思うかを書くところだよ!

モンシロチョウの育ち方を知りたいときは、どのように調べたらよいのでしょうか。

・何がみつよう?

れい)・虫かご

・それを使って何をする?



## 2. こん虫の体のつくり

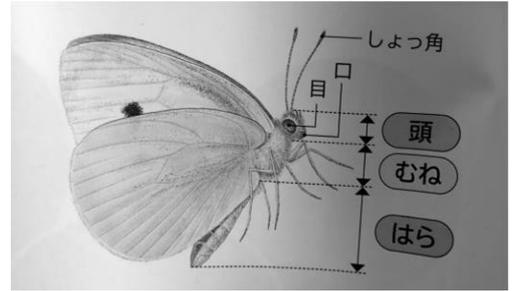
〇しらべてみよう！（教科書 34 ページでしらべられます。

チョウの体には ( )、( )、( ) の

3つの部分があります。

頭についているものは ( ) で、

むねについているものは ( ) です。



ほかの虫の体はどうでしょうか。

〇もんだい

虫の体のつくりは、どのようになっているのだろうか。

〇よそうしよう

今回は、①シオカラトンボ、②ダンゴムシ、③ショウリヨウバッタ、④ジョロウグモについて考えます。



モンシロチョウの体のつくりと同じかよそうしてみよう。

下に「同じ」か「ちがう」か書きましょう。よそうだから、今はしゃしんを見て数えないで、自分の考えを書きましょう。

①シオカラトンボ	②ダンゴムシ	③ショウリヨウバッタ	④ジョロウグモ
・体がいくつに分かれていますか → ( )	・体がいくつに分かれていますか → ( )	・体がいくつに分かれていますか → ( )	・体がいくつに分かれていますか → ( )
・あしの数 → ( )	・あしの数 → ( )	・あしの数 → ( )	・あしの数 → ( )
・あしがどこから生えているか → ( )	・あしがどこから生えているか → ( )	・あしがどこから生えているか → ( )	・あしがどこから生えているか → ( )

〇かんさつ

かんさつのかわりに教科書の 36、37 ページを見よう。(家でかっている虫などがいたらかんさつしてみよう)

かんさつは、「体がいくつに分かれているか」、「あしの数は何本か」、「あしはどこから生えているか」にちゅうもくしましょう。



### 3. こん虫の育ち方

- ・体が頭、むね、はらの3つに分かれている。
- ・むねに6本のあしが生えている。

モンシロチョウもショウリョウバッタも、こん虫であればせい虫の体のつくりは同じでした。  
では、育ち方はどうでしょうか。

#### ○もんだい

こん虫は、どのようなじゅんじょで育つのでしょうか。

☆ふくしゅう！

モンシロチョウはたまごからよう虫が出てき、キャベツを食べ、  
くり返し皮をぬぎながら大きくなります。大きくなったよう虫は  
さなぎになり、しばらくするとさなぎからせい虫が出てきます。

#### ○よそをしよう

今回は、①シオカラトンボ、②ショウリョウバッタ、③カブトムシを調べます。

モンシロチョウと同じ育ち方か、よそをしてみよう。ちがうと思うときは、どうちがうのかも書いてみよう。

①シオカラトンボ	②ショウリョウバッタ	③カブトムシ

#### ○計画を立てよう



教科書ページの図です。  
トンボのよう虫は「やご」と呼ばれていて、水の中  
で生活しています。

育ち方を知りたいときはよう虫をかって、育ててかんさつできるとよい。

#### ○かんさつ

かんさつのかわりに教科書の40、41ページを見よう。かんさつするときは、ほかのこん虫とくらべながらしよう。「くらべる」とは、同じところとちがうところをさがすことです。

○けっか

教科書の40、41ページを見て書きましょう。

モンシロチョウとくらべて育ち方はどうですか。(モンシロチョウと同じところ、ちがうところはどこですか。)

①シオカラトンボ	②ショウリヨウバッタ	③カブトムシ
----------	------------	--------

○考えよう

モンシロチョウの育ち方は「たまご→よう虫→さなぎ→せい虫」でした。

育ち方がモンシロチョウと同じだったものは？

→ ( )

育ち方がモンシロチョウとちがったものは？

→ ( ), ( )

よそうは正しかった？○をつけよう。

→ ( はい・いいえ )

2つのグループでちがうところを文で書いてみよう。

(ヒント：さなぎ)

○わかったこと (教科書41ページを見て書いてみよう。)

こん虫は、「( ) → ( ) → ( ) → ( )」というじゅんじょ

や、または「( ) → ( ) → ( )」というじゅんじょで育ちます。

よう虫からさなぎになった後、せい虫になる育ち方を「かんぜんへんたい」と言います。  
 よう虫から直せつ、せい虫になる育ち方を「ふかんぜんへんたい」と言います。  
 トンボはよう虫とせい虫のすがたがちがうからかんちがいしやすいけど、さなぎにならないので「ふかんぜんへんたい」なんだ！



よう虫を漢字で書くと「幼虫」になる。  
 この「幼(よう)」は「ようち園」の「よう」でもあるよ。  
 また、せい虫は「成虫」になる。  
 この「成(せい)」は「せい人式」の「せい」でもあるよ。  
 どちらが子どものすがたで大人のすがたか、おぼえるときのヒントにしてみよう！